

## 北國H31.1.23 (5面)

### IoTやAI 導入事例学ぶ

#### 中部経産局セミナー

中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局のセミナー「北陸地域における工作機械産業を中心とした先端ものづくり産業のIoT化・AI導入の可能性」は22日、金沢市の金沢ニユーグランドホテルで開かれ、約140人がIoTや



AI導入の先行事例を学んだ。

日本ユニシス(東京)やパイクリスタル(千葉県柏市)の担当者らがIoTセミナー技術の動向と活用方法を紹介し、東大大学院経済学研究科教授でもものづくり経営研究センター長の藤本隆宏氏が「デジタル化と日本のものづくり」と題して基調講演した。同大学院総合文化研究科副研究科長の松原宏教授も講演した。

中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局の藤井法夫支局長、北陸産業活性化センターの久和進会長がいさづいた。

## 北陸中日H31.1.23 (7面)

### AIやIoTの活用 ガイドライン公表へ

#### 中部経産局支局、3月に

中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局(富山市)は3月、モノのインターネット(IoT)や人工知能(AI)の活用を製造業に広めるためのガイドラインを公表する。

元工作機械メーカーの担当者ら約五十人が毎回参加して活用方法を検討してきた。支局が北陸産業活性化センター(同市)に事業を委託

した。北陸の製造業者を対象に昨年九月十月に実施したアンケートでは、専門人材と知識の不足を課題に挙げる企業が多かったことから、松原教授は「わかりやすいガイドラインがあると良い」と強調した。

セミナーでは東京大大学院経済学研究科の藤本隆宏教授(経営学、経済学)が基調講演をした。百四十人が聴講した。(阿部竹虎)



講演する松原宏教授  
金沢市内で